



带状疱疹とは

带状疱疹は、水疱瘡と同じウイルス（水痘・带状疱疹ウイルス）によって起こる病気です。多くの方が子どもの頃に水疱瘡にかかりますが、このウイルスは症状が治まっても身体の神経節の中に何十年も潜んでいます。日頃の疲労や睡眠不足、ストレス、加齢などによってウイルスに対する免疫力が低下すると、潜んでいたウイルスが再び活動を始め、带状疱疹として発症します。

主な症状

- ・体の左右どちらか片側に、水ぶくれを伴う赤い発疹が帯状に広がる。
- ・神経に沿って痛みの症状が出る。

症状の初期段階ではチクチクとした痛みからはじまり、しだいに衣服と触れるだけでも痛みを感じるようになることがあります。

発症から数日後には夜も眠れないような強い痛みにも悩まされる場合も少なくありません。



带状疱疹には、予防するワクチンがあります

带状疱疹の予防には、50歳以上の方を対象としたワクチンがあります。水疱瘡にかかったことがある人は、すでに水痘（すいとう）・带状疱疹ウイルスに対する免疫を獲得していますが、年齢とともに弱まってしまうため、改めてワクチン接種を行い、免疫を強化することで带状疱疹を予防します。予防接種は带状疱疹を完全に防ぐものではありませんが、たとえ発症しても症状がとえ発症しても症状が軽くすむという報告があります。

带状疱疹の発症率は50歳以上で増加し、50代、60代、70代と加齢に伴ってさらに増加します。

2020年1月より50歳以上の方を対象とした新しい带状疱疹ワクチン（サブユニットワクチン）が接種できるようになりました。



今までのワクチンと比較してみましょう

	水痘生ワクチン	サブユニットワクチン
長所	<ul style="list-style-type: none">・安全性が確立されている・1回の接種でよい・値段が安い（¥7,810）	<ul style="list-style-type: none">・免疫抑制患者にも接種可能・予防効果が高い：有効性97.2%・効果の持続期間が長い
短所	<ul style="list-style-type: none">・免疫抑制患者には接種できない・予防効果がやや劣る：約50%・効果の持続期間：5～7年	<ul style="list-style-type: none">・筋肉注射・副反応が比較的多い（接種部位の腫れなど）・2回接種の必要がある 1回目→2回目は、 2～6ヶ月の間隔をあける（推奨は2ヶ月）・値段が高い（1本¥22,000）×2回

それぞれのメリット、デメリットを比較して、自分に合ったものを選びましょう。

ワクチンの他に日常生活での予防には

- ・日頃からの体調管理をする
- ・食事や睡眠をきちんととる
- ・疲れたら休息をとる
- ・適度な運動を心がける

ご質問・ご不明な点などございましたら、お気軽にスタッフまでお問い合わせください。

